
市内小学校・中学校での選挙啓発の取組

市役所本庁舎見学時に模擬投票の体験(令和6年度～)

【実施主体】 鈴鹿市選挙管理委員会

市内小学校3年生を対象に、市役所本庁舎見学時に希望する小学校の児童に対して、クラスリーダーを決めるための選挙が体験できるように模擬投票体験コースを令和6年度から開設しました。

<令和6年度実施校 9校>

河曲小学校、深伊沢小学校、国府小学校、加佐登小学校、明生小学校、飯野小学校、椿小学校、鼓ヶ浦小学校、一ノ宮小学校

未来の有権者啓発事業(平成 18 年度～)

【実施主体】 三重県選挙管理委員会

市町運営の協力で、将来の有権者となる小中学生を対象に、選挙の仕組みや政治の大切さを学ぶ啓発事業です。

【目的】 選挙の仕組みや政治の大切さを簡単に分かりやすく説明し、未来の有権者に社会について勉強してもらい、また本物の記載台や投票箱等を使用することで、若い世代に早くから選挙への関心を持ってもらい、将来の投票率アップに繋がります。

<令和元年度>

・鼓ヶ浦中学校後期生徒会役員選挙における模擬投票

<平成 30 年度>

・神戸小学校の児童会選挙における模擬投票

<平成 27 年度>

・天栄中学校後期生徒会役員選挙における模擬投票

<平成 26 年度>

・鈴峰中学校後期生徒会役員選挙における模擬投票

<平成 25 年度>

・河曲小学校の児童会選挙における模擬投票

<平成 24 年度>

・清和小学校の児童会選挙における模擬投票